

地域核拠点の位置づけ		①中央	②永山	③豊岡	④東光	⑤東旭川	
計画	都市計画マスタープラン上の位置づけ	高度利用とまちなか居住の促進 広域的で高次の都市機能の集積を誘導	永山駅周辺に商店街が形成 ロードサイド型店舗が展開 教育や行政機能が集積 大規模な工業や流通地が形成 市街地外側の農地の保全	良好な住宅地が形成 大型商業施設の立地による東 地域の中心的な地区 ロードサイド型店舗が展開	良好な住宅地 市街地縁辺部は新興住宅地	豊岡の住宅地と連続した住宅 地が形成 旭川工業団地の工業機能の維 持、増進 市街地外側の農地の保全	
	旭川駅までの所要時間	～15分	15～45分	15～30分	15～30分	30～45分	
交通	路線バス	系統数	11	18	5	5	
		運行本数	103	249	147	68	
		(上り)	51	125	73	34	
		(下り)	52	124	74	34	
	時間当たり本数(本/h)	6.1	14.6	8.6	4.0		
	都市間バス	系統数	6	—	—	—	
		運行本数	13	—	—	—	
	JR	系統数	1	—	—	1	
		運行本数	38	—	—	22	
		(上り)	19	—	—	10	
(下り)		19	—	—	12		
特筆すべき事項	旭川駅までの所要時間も短 く、市内全域の公共交通結節 点となっている。	旭川駅までの所要時間が比較 的長い、都市間バス・JR の系統数・運行本数も比較的 多く、地域交通の拠点となっ ている。	バスの系統数・運行本数が多 く、地域交通の重要拠点と なっている。	—	旭川駅までの所要時間が比較 的長く、路線バスの時間当た り本数が比較的少ない。		
人口	地域内人口	H22現在	29,337	55,629	25,716	50,408	14,291
		H47将来	20,535	38,140	16,774	40,517	11,663
		増減率(H47/H22)	70.0%	68.6%	65.2%	80.4%	81.6%
	(参考) 地域核拠点 周辺の人口	H22現在	11,048	1,466	2,298	2,230	596
		H47将来	7,628	995	1,239	1,895	360
		増減率(H47/H22)	69.0%	67.8%	53.9%	85.0%	60.5%
		人口密度(H22現在)	33.2	33.8	47.3	65.9	32.4
		人口密度(H47将来)	23.0	23.0	25.5	56.0	19.6
	地域核拠点面積(ha)	332	43	49	34	18	
	従業員人口 (H26)	従業員人口	41,224	30,112	7,831	14,354	7,434
従業員人口/地域内人口 (昼間人口相当率)		140.5%	54.1%	30.5%	28.5%	52.0%	
特筆すべき事項	従業員人口が地区内人口を大 幅に上回っており、本市の就 業の中心地となっている。	地域内人口が最も多いが、人 口減少が比較的進む。 パルプや流通団地、ロードサ イド店など就業地が多く、従 業員人口・昼間人口相当率と も比較的高い。	—	地域内人口が多く、人口減少 が比較的進まない。	工業団地等の影響もあり、昼 間人口相当率が比較的高い。		
施設	医療施設	23	2	1	4	2	
	病院	10	—	—	—	1	
	診療所	13	2	1	4	1	
	福祉施設	52	9	12	4	3	
	高齢者福祉施設	9	3	2	—	2	
	児童福祉施設	10	1	7	3	1	
	障害者福祉施設	33	5	3	1	—	
	商業施設	7	1	4	1	1	
	スーパー	3	1	2	1	1	
	百貨店	4	—	—	—	—	
	公的施設	23	5	4	2	3	
	市窓口	2	1	1	—	1	
	国・道窓口	7	3	—	—	—	
	警察署・交番・駐在所	4	—	1	1	—	
	消防署・出張所	2	—	1	—	1	
	郵便局	8	1	1	1	1	
	教育施設	3	2	3	2	1	
	小学校	1	—(※)	1	1	—(※)	
	中学校	1	—(※)	1	1	1	
	高等学校	1	—	1	—	—	
	大学・短大	—	2	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	
	公的集会施設	5	1	1	1	1	
	公民館	—	1	—	1	—(※)	
	集会施設	5	—	1	—	1	
	その他集会施設	—	—	—	—	—	
	文化施設	5	1	—	1	1	
記念館・博物館・科学館	3	—	—	—	1		
図書館	1	1	—	1	—(※)		
美術館	1	—	—	—	—		
総計	121	21	25	15	12		
施設密度	0.36	0.48	0.51	0.44	0.65		
特筆すべき事項	医療施設・福祉施設が充実し ており、大規模な商業施設や 文化施設など中心市街地にふ さわしい高次機能が集積して いる。	日常生活に必要な都市機能が 揃っているほか、振興局や大 学などの高次機能が立地して いる。 国道・道道沿いに間延びした 形で立地している。	日常生活に必要な都市機能が 揃っているが、近隣に図書館 が立地していない。	日常生活に必要な都市機能は 概ね揃っているが、近隣に市 の窓口が立地していない。高 齢者福祉施設は少し離れてい るが、周辺にいくつか立地し ている。	日常生活に必要な都市機能が 揃っているが、障害者福祉施 設が立地していない。 施設密度が比較的高く、拠点 性が高い。		
総合評価	高次都市機能が集積しており、 全ての公共交通の結節点とな っており、市内外問わず 北海道の広域的な拠点となっ ている。	中心部から離れているもの の、都市機能や公共交通が充 実しており、周辺既成市街地 及び周辺農村部の生活拠点と なっているほか、振興局や大 学もあり、地域外からの利用 も多い。	中心部から比較的近く、都市 機能が充実していることと ともに、公共交通の結節点 であることから、周辺の既成 市街地の生活拠点となってい るほか、隣接する東旭川・東 光の生活拠点の一端を担っ ている。	都市機能や公共交通が充実し ており、周辺の既成市街地や 縁辺部に広がる低層住宅地の 生活拠点となっている。	中心部から離れているもの の、都市機能も充実しており、 周辺既成市街地及び周辺 農村部、工業団地の生活拠点 となっている。		
地域核拠点の分類イメージ	中心市街地	一般市街地型	一般市街地型 (または特定型拠点)	一般市街地型	一般市街地型		

地域核拠点の位置づけ		⑥神楽	⑦緑ヶ丘	⑧西神楽	⑨神居	
計画	都市計画マスタープラン上の位置づけ	高度利用とまちなか居住の促進 全市的な文化施設が立地 中心市街地として都市機能の充実	良好な住宅地 教育研究機関が集積	広域分散型の集落構造 市街地外側の農地の保全	良好な住宅地 市街地外側の農地の保全	
	旭川駅までの所要時間	～15分	15～30分	30～45分	15～30分	
交通	路線バス	系統数	5	3	22	
		運行本数	149	17	190	
		(上り)	74	8	86	
		(下り)	75	9	104	
		時間当たり本数(本/h)	8.8	1.0	11.2	
	都市間バス	系統数	—	—	—	
		運行本数	—	—	—	
	JR	系統数	—	—	1	
		運行本数	—	—	38	
		(上り)	—	—	19	
	(下り)	—	—	19		
	特筆すべき事項	旭川駅に隣接しており、路線バスの系統数・運行本数とも充実している。	—	旭川駅までの所要時間が比較的長く、路線バスの時間当たり本数が少ない。	バスの系統数・運行本数が比較的多く、地域交通の重要拠点となっている。	
人口	地域内人口	H22現在	16,229	20,802	3,523	33,089
		H47将来	9,960	18,564	1,047	20,090
		増減率(H47/H22)	61.4%	89.2%	29.7%	60.7%
	(参考) 地域核拠点 周辺の人口	H22現在	1,367	1,630	396	1,033
		H47将来	856	955	208	615
		増減率(H47/H22)	62.6%	58.6%	52.5%	59.5%
		人口密度(H22現在)	32.9	26.5	23.3	42.4
		人口密度(H47将来)	20.6	15.5	12.2	25.2
	地域核拠点面積(ha)	42	61	17	24	
	従業員人口(H26)	従業員人口	4,498	6,507	860	9,063
従業員人口/地域内人口(昼間人口相当率)		27.7%	31.3%	24.4%	27.4%	
	特筆すべき事項	—	新興住宅地が多く、人口減少が比較的進まない。	地区内人口が現在・将来とも最も少なく、人口減少が著しい。まとまった就業地が少なく従業員数・昼間人口相当率とも低い。	—	
施設	医療施設	1	2	—	4	
	病院	—	1	—	—	
	診療所	1	1	—	4	
	福祉施設	9	1	—	8	
	高齢者福祉施設	4	—(※)	—	1	
	児童福祉施設	3	1	—(※)	—(※)	
	障害者福祉施設	2	—	—	7	
	商業施設	1	1	—	3	
	スーパー	1	1	—	3	
	百貨店	—	—	—	—	
	公的施設	5	2	4	3	
	市窓口	1	—	1	1	
	国・道窓口	1	—	—	—	
	警察署・交番・駐在所	1	—	1	1	
	消防署・出張所	1	—	1	—	
	郵便局	1	2	1	1	
	教育施設	1	7	1	—	
	小学校	1	1	—	—(※)	
	中学校	—	1	1	—(※)	
	高等学校	—	3	—	—	
	大学・短大	—	2	—	—	
	その他	—	—	—	—	
	公的集会施設	4	1	2	1	
	公民館	1	—	1	1	
	集会施設	3	1	1	—	
	その他集会施設	—	—	—	—	
	文化施設	2	1	1	1	
記念館・博物館・科学館	1	—	—	—		
図書館	1	1	1	1		
美術館	—	—	—	—		
総計	23	15	8	20		
施設密度	0.55	0.24	0.47	0.82		
	特筆すべき事項	日常生活に必要な都市機能が揃っているほか、大雪アリーナやクリスタルホールなど中心市街地を補完する施設が立地している。	日常生活に必要な都市機能は概ね揃っているが、市の窓口や障害者福祉施設が立地していない。医大や小中学校など敷地の広い施設が多く、施設密度は低い。	支所や公民館は立地しているが、診療所やスーパーなど日常生活に必要な都市機能が揃っていないほか、高齢者・障害者福祉施設も立地していない。	日常生活に必要な都市機能が揃っており、環状線沿いに間延びしているが、施設密度が高く、拠点性が高い。	
	総合評価	旭川駅に隣接し、中心部を補完する都市機能も充実しており、周辺既成市街地の生活拠点のほか、中心市街地の一端を担っている。	都市機能や公共交通が充実しており、周辺に広がる公営住宅や低層住宅地の生活拠点となっているほか、医大や高校もあり、地域外からの利用も多い。	中心部から離れており、人口・都市機能とも少ないが、周辺農村部の地域コミュニティの拠点となっている。	中心部から比較的近く、都市機能や公共交通が充実しており、周辺既成市街地の生活拠点となっている。	
	地域核拠点の分類イメージ	中心市街地	一般市街地型	郊外型	一般市街地型	

地域核拠点の位置づけ		⑩北星	⑪春光台・鷹の巣	⑫春光・末広	⑬東鷹栖	
計画	都市計画マスタープラン上の位置づけ	住宅や工場などが混在 ロードサイド型店舗が展開 教育、商業、工業施設などが立地	住宅地と隣接し福祉施設が集積	良好な住宅地 ロードサイド型店舗が展開	背後に農地が広がる市街地 物流団地における流通関連施設 の集積 市街地外側の農地の保全	
	旭川駅までの所要時間	15～30分	30～45分	15～30分	45～60分	
交通	路線バス	系統数	7	6	43	6
		運行本数	106	64	344	25
		(上り)	53	30	176	12
		(下り)	53	34	168	13
	時間当たり本数(本/h)	6.2	3.8	20.2	1.5	
	都市間バス	系統数	—	—	2	—
		運行本数	—	—	3	—
	JR	系統数	—	—	—	—
		運行本数	—	—	—	—
		(上り)	—	—	—	—
(下り)		—	—	—	—	
特筆すべき事項		—	旭川駅までの所要時間が比較的長く、路線バスの時間当たり本数が比較的少ない。	バスの系統数・運行本数が最も多く、地域交通の重要拠点となっている。	旭川駅までの所要時間が長く、路線バスのみで、時間当たり本数が少ない。	
人口	地域内人口	H22現在	33,028	12,893	46,767	5,274
		H47将来	25,275	14,003	49,999	2,528
		増減率(H47/H22)	76.5%	108.6%	106.9%	47.9%
	(参考) 地域核拠点 周辺の人口	H22現在	2,195	1,231	2,436	292
		H47将来	1,240	907	3,030	191
		増減率(H47/H22)	56.5%	73.6%	124.4%	65.6%
		人口密度(H22現在)	53.0	41.8	42.5	29.9
		人口密度(H47将来)	29.9	30.8	52.8	19.6
	地域核拠点面積(ha)	41	29	57	10	
	従業員人口 (H26)	従業員人口	11,618	3,032	13,641	4,144
従業員人口/地域内人口 (昼間人口相当率)		35.2%	23.5%	29.2%	78.6%	
特筆すべき事項		—	未利用宅地が多く、定期的な開発により、人口減少が進みにくい。 まとまった就業地が少なく従業員数・昼間人口相当率とも低い。	地域内人口が多く、官舎跡地利用の宅地開発などにより、人口減少が進みにくい。	地区内人口が少なく、人口減少も著しい。 物流団地や国道南側の工業地域等の影響もあり、昼間人口相当率が比較的高い。	
施設	医療施設	2	1	2	—	
	病院	—	—	1	—	
	診療所	2	1	1	—	
	福祉施設	4	3	6	2	
	高齢者福祉施設	—	1	—(※)	1	
	児童福祉施設	3	2	3	1	
	障害者福祉施設	1	—	3	—(※)	
	商業施設	1	2	6	—	
	スーパー	1	2	3	—	
	百貨店	—	—	—	—	
	公的施設	1	2	2	2	
	市窓口	—	—	—	1	
	国・道窓口	—	—	—	—	
	警察署・交番・駐在所	—	1	1	1	
	消防署・出張所	—	—	—	—	
	郵便局	1	1	1	—	
	教育施設	2	1	2	—	
	小学校	1	1	1	—	
	中学校	—	—(※)	—	—(※)	
	高等学校	—	—	1	—	
	大学・短大	1	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	
	公的集会施設	2	1	1	1	
	公民館	1	—(※)	1	1	
	集会施設	1	1	—	—	
	その他集会施設	—	—	—	—	
	文化施設	1	—	—	1	
記念館・博物館・科学館	—	—	—	—		
図書館	1	—(※)	—	1		
美術館	—	—	—	—		
総計	13	10	19	6		
施設密度	0.31	0.34	0.33	0.62		
特筆すべき事項		日常生活に必要な都市機能は概ね揃っているが、市の窓口や高齢者福祉施設が立地していない。 教育大等もあり、施設密度はあまり高くない。	日常生活に必要な都市機能は概ね揃っているが、市の窓口がない。障害者福祉施設は少し離れたところに集積している。 公営住宅等があり、施設密度は比較的低い。	日常生活に必要な都市機能は概ね揃っているが、市の窓口がない。 大規模なスーパーや病院があり、施設密度は比較的低い。	支所や公民館は立地しているが、診療所やスーパーなど日常生活に必要な都市機能が揃っていない。	
総合評価		中心部から比較的近く、都市機能や公共交通が充実しており、周辺既存市街地の生活拠点となっている。	中心部から離れているものの、都市機能も充実しており、周辺の低層住宅地の生活拠点となっているほか、隣接する鷹栖町の生活拠点の一端を担っている。	都市機能が充実しているとともに、公共交通の結節点であることから、周辺の既存市街地の生活拠点となっているほか、隣接する東鷹栖や比布町の生活拠点の一端を担っている。	中心部から離れており、人口・都市機能とも少ないが、周辺農村部の地域コミュニティの拠点となっている。	
地域核拠点の分類イメージ		一般市街地型	一般市街地型	一般市街地型 (または特定型拠点)	郊外型	